

固定堰・床止（管理施設・許可工作物）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 事務所名 …………… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 2 施設名 …………… 施設名を記入する。
- 3 水系名 …………… 施設の設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …………… 施設の設置されている河川名を記入する。
- 5 河川位置 …………… 設置箇所の距離標を記入する。
(例) 8/355
- 6 市町村名 …………… 施設の設置されている市町村名を記入する。
- 7 整理番号 …………… 河川名と構造物の区別がわかるように記入し、番号は河川毎に下流からの通し番号で記入する。
(例) 御笠川の場合 堰 24 御笠 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 8 頁 …………… 調書、平面図、構造図、写真総てに通し番号を記入する。
- 9 施設所在地 …………… 設置箇所の地先名を記入する。(例) 鞍手郡宮田町大字本城字糸遊地先
- 10 目的 …………… 施設の使用目的を記入する。
取水（都市用水、かんがい用水等）、河床安定、流況調節等
- 11 水位計 …………… 有無を○で囲むものとする。
有の場合は、自記普通を○で囲み、その位置を○/○○○とし零点高はT. P ± ○. ○○○m を記入する。
- 12 取水施設 …………… 施設の名称、位置を記入する。
整理番号及び頁は、取水樋門、樋管（許可工作物）台帳調書の整理番号を記入する。
- 13 事業概要 …………… 施設の改築若しくは新に建設した機関を記入する。
施設の着手、完成した年月日を記入する。事業費、施工者は、該当する項目にそれぞれ記入する。
- 14 管理所管 …………… 施設を管理している名称、所在地、TELを記入する。
(例) 許可工作物の場合 名称 福岡県
所在地、福岡市博多区博多駅東 TEL(092)471-6331(代)
出先及び担当課の名称は、直方土木事務所 所在地、直方市溝掘1丁目 TEL(09492)2-1830
- 15 管理着手年月日 …………… 管理を着手した年月日を記入する。
- 16 操作規則 …………… 有無を○で囲むものとする。
有の場合は、施行年月日、名称、操作水位（T. P ± ○. ○○○m）を記入する。
- 17 関連取水施設 …………… 管理者(土地の占有者)以外がその堰上げを利用して取水している施設名称と位置、整理番号頁を記入する。

- 18 構造チェック……………改築判定は、A、B、Cのいずれか下記の条件に該当するものに○で囲み（ ）内に代表的な名称を記入する。
- a コンクリート構造等ヶ所のヒビ割れ、目地等のズレによる漏水、損傷等の現象が著しく表れて早急に改築が必要な箇所
 - b 上記の現象が小さく、完成年次の不明若しくは、30年以上経過し老朽化の進んでいる箇所
 - c a、b以外で問題が生じていない箇所
- 19 形式……………堰の形式は、固定堰、床止を記入する。
- 20 堰長……………堰長を記入する。
- 21 本体……………天端高は、T.P±0.〇〇〇mを記入する。
 構造は、鉄筋コンクリート等を記入する。
 基礎は、直接基礎、杭基礎等を記入する。
 杭基礎の場合は、種類(RC、PC、PHC等) 杭径、長さ(2本継ぎの場合は上杭下杭の長さ)本数を記入する。
- 22 水叩……………幅×長さ及び厚さを記入する。
 基礎は、直接基礎、杭基礎等を記入する。
 杭基礎の場合は、杭種類(RC、PC、PHC等) 杭径、長さ(2本継ぎの場合は上杭下杭の長さ)本数を記入する。
- 23 護床工……………幅×長さを記入する。種類(ブロックの名称、例……三連ブロック)及び重量(2t/ヶ連結あり)を記入する。
- 24 止水工……………列数、種類、規格、寸法を記入する。
- 25 高水敷保護工……………幅、長さを記入する。種類(コンクリート張等 厚さ0.1m等)を記入する。
- 26 土砂吐……………形式、ヶ所数、幅×高 敷高を記入する。
 門扉形式は、材質と名称を記入する。
 動力、開閉方式(ワイヤーロープ等)操作方式(遠方、機側等)を記入する。
- 27 魚道……………対象魚(アユ、コイ、フナ等)形式(固定式、可動式)、魚道、呼水流量、幅、敷高を記入する。
 固定式または、可動式の後に階段式魚道、呼水式魚道等の名称を記入する。
- 28 設計条件……………設計震度は、垂直(KV)水平(KH)を記入する。
 コンクリートの設計強度(σ 28)を記入する。
- 29 河道諸元……………施設位置での計画高水流量から計画堤防天端幅まで、それぞれの数値を記入する。
- 30 電気設備……………負荷設備は、該当する設備を記入する。(例)動力(モーター) 出力80KW等
 契約種別、電力がわかるように記入する。
- 31 端部……………本体、両端の構造及びび嵌入状態並びに補強例について記入する。

可動堰（管理施設・許可工作物）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 事務所名 …… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 2 施設名 …… 河川管理施設名または、許可工作物名を記入する。
- 3 水系名 …… 施設の設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …… 施設の設置されている河川名を記入する。
- 5 河川位置 …… 設置箇所の距離標を記入する。
(例) 8/355
- 6 市町村名 …… 施設の設置されている市町村名を記入する。
- 7 整理番号 …… 河川名と構造物の区分がわかるように記入し、番号は河川毎に下流から通し番号で記入する。
(例) 御笠川の場合 堰 24 御笠 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 8 頁 …… 調書、平面図、構造図、写真総てに通し番号を記入する。
- 9 施設所在地 …… 設置箇所の地先名を記入する。(例) 鞍手郡宮田町大字本城字糸遊地先
取水、流量調節、逆流防止、防潮、河床安定等
- 10 目的 …… 施設の使用目的を記入する。
- 11 管理所 …… 管理所の有無を○で囲むものとする。有の場合は○階建てを記入する。
敷地面積、建築面積、財産区分を記入する。
財産区分は、公用財産と公共用財産に分けられる。
公用財産・・・国において国の事務、事業又はその職員の居住の用に供し又は供するもの（庁舎等）
公共用財産・・・国において直接公共の用に供し又は供するものと決定したもの（河川管理施設等）
- 12 操作 …… 操作は、直営、委託、その他(委嘱、臨時入夫)について該当するものに○でかこむものとする。
- 13 取水施設 …… 施設の名称、位置を記入する。
整理番号及び頁は、水門・樋門・樋管(許可工作物)台帳調書の整理番号を記入する。
- 14 事業概要 …… 施設の改築若しくは新たに建設した機関を記入する。
施設の着手、完成した年月日を記入する。
事業費、施工者は、該当する項目にそれぞれ記入する。

- 15 管 理 所 管 …………… 施設を管理している名称、所在地、TEL を記入する。
 (例) 許可工作物の場合 名称 福岡県
 所在地、 福岡市博多区博多駅東 TEL (092) 471-6331 (代)
 出先及び担当課の名称は、直方土木事務所
 所在地、 直方市溝掘 1 丁目 TEL (09492) 471-6331 (代)
- 16 管理着手年月日 …………… 管理を着手した年月日を記入する。
- 17 操 作 規 則 …………… 有無を○で囲むものとする。
 有の場合は、施行年月日、名称、操作水位(T.P±○.○○○m)を記入する。
- 18 水 位 計 …………… 基準とする水位計と予備水位計の有無、種別は自記、普通を該当するものに○で囲むものとする。
 位置は、左岸○/○○○零点高はT.P±○.○○○mを記入する。
- 19 電 気 設 備 …………… 負荷設備は該当する設備を記入する。(例) 動力(モーター)出力、80KW等
 契約種別、電力が分かるように記入する。
 (例) 常時 高圧 甲 150KW
 // 低圧 45KW
- 20 堰 長 …………… 施設の全長、可動部、固定部を記入する。
- 21 耐 用 年 数 …………… 施設の耐用年数を記入する。
- 22 総 貯 水 容 量 …………… 各項目に記入する。
- 23 有 効 貯 水 容 量 …………… //
- 24 計 画 貯 水 位 …………… //
- 25 流 域 面 積 …………… //
- 26 河 道 諸 元 …………… 施設位置での計画高水流量から計画堤防天端幅迄それぞれの数値を記入する。
- 27 門 扉 …………… 形式は、扉体の材質と扉体の名称を記入する。
 扉体の名称は、水門鉄管技術基準に記載しているものの中から該当するものを記入する。
 越流区分は、越流式、非越流式に大別して記入する。
 径間×扉高、敷高を記入する。
 塗装面積は、内外面積に区分して記入する。
 予備ゲートは有無を○で囲むものとする。
 有の場合はゲート形式、保管場所を記入する。
- 28 開 閉 装 置 …………… 開閉方式は、ワイヤロープ捲取式、油圧シリンダー式、ワイヤードラムウィンチ式、スピンドル式、ラック式
 等の該当するものを記入する。
 操作方式は、遠隔、遠方、機側等の該当するものを記入する。
 動力は、名称(電動機、エンジン)容量(KW,PS)規格(ガソリン、ディーゼル等)を記入する。
 予備動力がある場合は上記と同様とする。

- 29 管 理 橋 …………… 路線名を記入する。
道路区分を記入する。(例) 第3種4級
橋の等橋、1、2等橋を○で囲むものとする。
設計荷重を記入する。(例) TL-20
桁下余裕高を記入する。(例) 1.0m
基準経間長、純経間長、河積阻害率(河川管理施設等構造令による橋脚の総幅が河幅に対して占める割合)を記入する。
落橋防止装置、橋名板、踏掛板は、有無を○で囲むものとする。
上部工は、橋長、幅員を記入する。形式は鋼橋、PC橋、RC橋(土木工事設計要領第Ⅲ編道路編)を記入する。
桁下高は、左右岸共 T.P±○.○○○mを記入する。
高欄は、形式、高さを記入する。
照明は、有無を○で囲むものとし、ワット(W)と灯数を記入する。
支承種類、伸縮継手は土木工事設計要領(第Ⅲ編道路編)等に記載されているものの中から該当するものを記入する。
排水設備は、有無を○で囲むものとする。
- 30 設 計 条 件 …………… 設計震度は、垂直(KV)、水平(KH)を記入する。
コンクリートの設計強度(628)は、上部工の場合(桁、床版)と下部工の場合に分けて記入する。
- 31 橋 台 …………… 躯体は、名称(重力式、半重力式、逆T式、扶壁式等)を記入する。
基礎は、直接基礎か杭基礎等を記入する。
杭基礎の場合は杭種類、杭径、杭長(2本継は上杭長、下杭長)本数を記入する。
- 32 堰 柱 …………… 躯体は、名称(壁式、柱式、ラーメン式、半重力式、逆T式等)を記入する。
基礎は、杭基礎等かを記入する。
杭基礎の場合は、杭種類、杭径、杭長(2本継は上杭長、下杭長)、本数を記入する。
上屋の形式は、鉄筋コンクリート造、コンクリートブロック造折板葺、軽量鉄骨造折板葺等を記入する。
寸法は、内部寸法を記入する。
屋内、外の照明は、有無を○で囲むものとし、ワット(W)と灯数を記入する。
- 33 閘 門 …………… 対象舟は、t数、幅、長さ等を記入する。
給排水設備は有無を○で囲むものとする。
有の場合は、能力及び所要時間を記入する。
繫留設備は、有無を○で囲むものとする。
水位計は、有無、自記、普通を○で囲むものとする。
水位計の零点高は T.P±○.○○○mを記入する。
閘室寸法は、有効幅と有効長を記入する。

- 34 魚道 …………… 対象魚(アユ、コイ、フナ、ウナギ等)を記入する。
形式は固定式、可動式を記入する。
固定式または可動式の後に階段式魚道、斜路式魚道、呼び水式魚道等の名称を記入する。
魚道、呼び水流量を記入する。
魚道幅を記入する。
流入敷高は、固定式の場合流入敷高を記入する。可動式の場合は、調節範囲を記入する。
- 35 固 定 部 …………… 堰長及び天端高(T.P±〇.〇〇〇m) を記入する。
基礎は直接基礎か杭基礎等かを記入する。
杭基礎の場合は、杭種類、杭径、杭長(2本継は上杭長、下杭長)、本数を記入する。
- 36 水 叩 …………… 幅×長さ及び厚さを記入する。
基礎は直接基礎か杭基礎等かを記入する。
杭基礎の場合は、杭種類、杭径、杭長(2本継は上杭長、下杭長)、本数を記入する。
- 37 護 床 工 …………… 幅×長さを記入する。種類(ブロックの名称、例・・・三連ブロック)及び重量(2t/ヶ連結あり)を記入する。
- 38 高 水 敷 保 護 工 …………… 幅、長さを記入する。種類(コンクリート張等、厚(t) 0.1m等)を記入する。
- 39 止 水 工 …………… 列数、種類、規格、寸法を記入する。
- 40 添 加 工 作 物 …………… 設置年月日、名称、内容、事業機関等、金額を記入する。
(例) 名称・・・(水道管) 内容・・・(飯塚市上水道φ300鋼管) 事業機関・・・(飯塚市水道局)
- 41 付 属 設 備 …………… 警報設備、I T V、塩分濃度計は有無を○で囲みヶ所数、位置等を記入する。
防護柵は有無を○で囲み位置、高さ、延長等を記入する。
ゲート操作階段は材質(ss41、ステンレス、アルミ等)及び名称(らせん式等)を記入する。
- 42 塗 装 …………… 塗装に必要な名称、面積を記入する。
- 43 土 地 の 占 用 …………… 占有者、所在地、TEL、河川法、占用面積を記入する。

44 流水の占有(水利権) …………… 水利使用者、所在地、TEL、河川法を記入する。

取水量を記入するものとするが慣行水利権で実測値と届出との数値があればそれを記入する。

水利権区分は、許可と慣行水利権区分を記入する。

水源区分は、表流水、伏流水区分として塩分含みは(塩)と記入する。

取水方法は、堰上ポンプ取水、堰上自然取水等を記入する。

取水口位置は施設(取水塔、用水樋管等)の位置ではなく取水口(暗渠取水ヶ所、水路流入口、取水管の先端部等)位置を記入する。

但し取水施設と取水口が5m程度であれば同一軒数で記入してもよい。

その他許可内容許可条件は次ぎに記す事項等を記入する。

(1) かんがい用水

(イ) かんがい面積 (ロ) かんがい期間 (ハ) ポンプ稼動時間

(2) 都市用水

(イ) 計画内容 (目標年次、年間総取水量、給水人口、日最大取水量、給水量)

(ロ) 許可条件

(3) その他は水利権の譲渡等の経過があれば記入する。

45 関連取水施設 …………… 管理者(土地の占有者)以外がその堰上げを利用して取水している総ての施設名称と取水量位置、整理番号、頁を記入する。

46 構造チェック …………… 河川管理施設等構造令及び河川管理施設等応急対策基準に照らし不足箇所があれば記入する。

魚道台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 整理番号 …………… 河川名と構造物の区別がわかるように記入し、番号は河川毎に下流からの通し番号で記入する。
(例) 御笠川の場合 魚 24 御笠川 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 2 土木事務所名 …………… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 3 水系名 …………… 施設が設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …………… 施設が設置されている河川名を記入する。
- 5 落差工名称 …………… 魚道が設置されている井堰や床止めの名称を記入する。
- 6 距離標 …………… 設置箇所の距離標を記入する。
(例) 8/355
- 7 魚道タイプ …………… 階段式、アイスハーバー式、粗石付き斜路式などの魚道タイプを記入する。
- 8 魚道諸元 …………… 対象魚(アユ・オイカワ、カワムツ等)、魚道流量(検討対象とした 1/10 濁水流量等)、呼水流量、勾配、延長、幅、落差(プールタイプ魚道の場合)、水深を記入する。
- 9 写真 …………… 魚道の全景、魚道本体(魚道タイプが判別できるもの)、入り口・出口の写真を貼る。
- 10 位置図 …………… 河川図に魚道位置を旗揚げしたものを貼り付ける。

水門・樋門・樋管（管理施設）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 事務所名 …………… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 2 施設名 …………… 河川管理施設名を記入する。
- 3 水系名 …………… 施設の設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …………… 施設の設置されている河川名を記入する。
- 5 河川位置 …………… 設置箇所の距離標を記入する。
(例) 8/355
- 6 市町村名 …………… 施設の設置されている市町村名を記入する。
- 7 整理番号 …………… 河川名と構造物の区別がわかるように記入し、番号は河川毎に下流からの通し番号で記入する。
(例) 御笠川の場合 堰 24 御笠 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 8 頁 …………… 調書、平面図、構造図、写真総てに通し番号を記入する。
- 9 施設所在地 …………… 設置箇所の地先名を記入する。(例) 鞍手郡宮田町大字本城字糸遊地先
- 10 目的 …………… 施設の使用目的を記入する。
自然排水、強制排水、用排水、逆流防止、防潮等
- 11 事業概要 …………… 事業機関は鉱害復旧事業等で改築を行った場合、または他の機関が改築を行った場合は、その事業機関を記入する。
着手、完成年月日は施設が着手、完成した年月日を記入する。
事業費、施工者は、土木、機械、電気に分けて該当する項目にそれぞれの数値を記入する。
- 12 設計条件 …………… 自動車荷重を記入する。(例) TL-20、 TL-14
コンクリート強度は、設計強度($\sigma 28$)を記入する。
- 13 河道条件 …………… 施設位置での計画高水流量から計画河床勾配迄それぞれの数値を記入する。
- 14 水理諸元 …………… 施設位置での流域面積から比断面迄それぞれの数値を記入する。
比流量は、次の式で表す。 比流量 = $\frac{\text{計画流量 (} m^3 / \text{sec)}}{\text{流域面積 (} km^2)}$ 、比断面は、次の式で表す。 比断面 = $\frac{\text{樋管面積 (} m^2)}{\text{流域面積 (} km^2)}$
- 15 土木事務所名 …………… 施設を管している土木事務所名、所在地、TEL(電話)を記入する。
(例) 北九州土木事務所、北九州市八幡西区則松3丁目7番1号
TEL (093)691-2767
- 16 管理着手年月日 …………… 管理を着手した年月日を記入する。
- 17 操作 …………… 直営、委託、委嘱、その他(操作が必要でないもの)に区分したものに○で囲むものとする。
委託、委嘱については、「水門等操作員の手当額の算定基準について」の施設区分であるA、B、Cのいずれかを()内に記入する。

- 18 樋 名 板……………有無を○で囲むものとする。
- 19 待 機 小 屋……………有無を○で囲むものとする。
- 20 費用負担及び方式……………有無を○で囲むものとする。
有の場合は、「排水機場の管理に要する費用の負担に関する覚書」による、A案、B案を○で囲むものとする。
- 21 操 作 規 則……………有無を○で囲むものとする。
有の場合は、施行年月日、名称、操作水位(T. P±○.○○○m)を記入する。
- 22 堤内最低地盤高……………施設の流域内にある越流ヶ所、宅地、田畑、道路等の最低地盤高を記入する。
- 23 塗 装 面 積……………扉体から手摺迄該当する項目に必要な面積を記入する。
- 24 電 気 設 備……………負荷設備は、該当する設備を記入する。
契約(種別、電力)は、該当する設備を記入する。(例) 動力(モーター) 出力 60KW 等
(例) 常時 高圧 甲 105kw
 " 低圧 13kw
 " 定額 1灯 100 w
- 25 構 造 チェック……………改築判定は、A、B、Cのいずれか下記の条件に該当するものに○で囲み()内に代表的な名称を記入する。
a 切石造、土管造、コンクリート構造等ヶ所のヒビ割れ、継ぎ手等のズレによる漏水、損傷等の現象が著しく表れて早急に改築が必要な箇所
b 上記の現象が小さく、完成年次の不明若しくは、30年以上経過し老朽化の進んでいる箇所
c a、b以外で問題が生じていない箇所
構造令は、河川管理施設等構造令及び河川管理施設等応急対策基準に照らし不足箇所があればそれらを記入する。
- 26 本 体……………規格は、縦(H)×横(B)×本体長(L)×門数(N)、面積は、断面積を記入する。
構造は、切石造、土管造、ヒューム管コンクリート巻立、鉄筋コンクリート等該当するものを記入する。
角落は、有無を○で囲むものとする。
基礎は、直接基礎、杭基礎のいずれかを記入し、杭基礎の場合は、種類(RC、PC、PHC等)杭径、長さ(2本継ぎの場合は上杭、下杭の長さ)本数を記入する。
- 27 本 体 敷 高……………敷高は、T. P±○.○○○m 記入する。
- 28 開 閉 装 置……………主動力の種別は、電気かエンジンか手動かに区分して記入する。
(例) 手動スピンドル単動型
 エンジンラック式連動型
形式、出力、台数は、名称、出力、台数を記入する。
(例) ヤンマー横型水冷4サイクルディーゼル 10ps×1台
 日立全閉外扇屋外フランジ型電動機 3.7kw×1台
予備動力がある場合は、上記と同様とする。
操作方法は、遠方、機側、手動等のいずれかを記入する。
非常時の場合の操作についても記入する。

- 29 門 扉……………形式は、鋼製、木製等の材質に区分して記入する。
(例) 鋼製ローラーゲート、木製スライドゲート、ステンレスフラップゲート等
- 30 管 理 橋……………形式は、鋼製、コンクリート製(PC、RC、その他)を記入する。
有効幅、長さ記入する。手摺及び扉は、高さ及びピッチとし、危険防止用として扉が付いているか
その有無を○で囲むものとする。
- 31 操 作 台 寸 法……………操作台の寸法を記入する。幅(B)×長(L)×厚(T)×面積(S)
- 32 上 屋……………形式は、構造及び寸法を記入する。
構造は、鉄筋コンクリート造、コンクリートブロック造折板葺、軽量鉄骨造折板葺等とし寸法は、内部寸法を記入する。
照明の電源は、商用電力、発動発電機等を記入する。
照明の屋内屋外は、有無を○で囲みワットと灯数を記入する。
(例) 有の場合、100w×1 灯
- 33 管 理 用 階 段……………有無を○で囲むものとする。
有の場合は、形式(構造及び寸法)を記入する。
- 32 水 位 計……………水位計は有無を○で囲むものとする。
有の場合は、水位計の名称を記入して自記、普通か該当するものに○で囲むものとする。
零点高は、T. P±○.○○○mで記入する。

水門・樋門・樋管（許可工作物）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 整理番号 …………… 河川名と構造物の区別がわかるように記入し、番号は河川毎に下流からの通し番号で記入する。
(例) 御笠川の場合 堰 24 御笠 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 2 土木事務所名 …………… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 3 水系名 …………… 施設の設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …………… 施設が設置されている河川名を記入する。
- 5 位置 …………… 設置箇所の地先名まで記入する。(例) 宗像市大字吉田
設置箇所の距離標を記入する。(例) 0/060
設置箇所の左右岸別を記入する(例) 右岸
- 6 施設名 …………… 施設名を記入する。
- 7 本体構造 …………… 門数の数値を記入する。
ゲート形状は川表、川裏側にゲート構造のものが存在する場合、ローラー、スライド、フラップ等の形式を記入する。
断面寸法を記入する。
材質はゲート構造のものが存在する場合、鋼製、木製、FRP等を記入する。
- 8 竣工年月日 …………… 施設の竣工年月日を記入する。
- 9 管理者 …………… 施設を管理している名称、所在地 TEL を記入する。
- 10 使用目的 …………… かんがい、工業用水、水道用水等の使用目的を記入する。
- 11 その他特記事項 …………… 許可工作物の場合は許可番号、許可年月日（慣行水利の場合は届出日）を記入する。
- 12 平面図 …………… 河川図に施設の位置を旗上げたものを貼り付ける。
- 13 写真 …………… 施設の状態が分かるように、川表側、川裏側から撮影したものを貼り付ける。

排水機場（管理施設・許可工作物）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 事務所名 …… 管理を担当している土木事務所名を記入する。
- 2 施設名 …… 河川管理施設名を記入する。
- 3 水系名 …… 施設の設置されている水系名を記入する。
- 4 河川名 …… 施設の設置されている河川名を記入する。
- 5 河川位置 …… 設置箇所の距離標を記入する。
(例) 8/355
- 6 市町村名 …… 施設の設置されている市町村名を記入する。
- 7 整理番号 …… 河川名と構造物の区分がわかるように記入し、番号は河川毎に下流から通し番号で記入する。
(例) 新々堀川の場合 排 12 新々堀 - 001
土木事務所単位 下流からの
の河川番号 通し番号
- 8 頁 …… 調書、平面図、構造図、写真総てに通し番号を記入する。
- 9 施設所在地 …… 設置箇所の地先名を記入する。(例) 鞍手郡宮田町大字本城字糸遊地先
- 10 目的 …… 施設の使用目的を記入する。(例) 内水排除等
- 11 水位計 …… 有無を○で囲むものとする。有の場合は、自記、普通を○で囲み、その位置を○岸 ○/○○○とし、零点高は T.P±○.○○○mを記入する。
- 12 一連施設 …… 自然排水樋管名称を記入する。
操作関係は、直営、委託、委嘱、その他（操作が必要でないもの）に区分したものに○で囲むものとする。
委託、委嘱は「水門等操作員の手当額の算定基準について」の施設区分である A、B、C のいずれかを（ ）内に記入する。
位置は、○岸○/○○○を記入する。
整理番号及び頁は、水門・樋門・樋管台帳調書の整理番号を記入する。
吐出（強制吐出）樋管についても上記と同様とする。
- 13 事業概要 …… 施設の改築若しくは、新に建設した機関を記入する。
施設の着手、完成した年月日を記入する。
事業費、施工者は、該当する項目にそれぞれ記入する。

- 14 管 理 所 管 …………… 管理者は、施設を管理している名称、所在地、TEL を記入する。
 (例) 管理施設の場合 名 称…福岡県
 所在地…福岡市博多区博多駅東 TEL (092) 471-6331 (代)
 出先及び担当課は、施設を管理している名称、所在地、TEL を記入する。
 (例) 出張所の場合 名 称…直方土木事務所
 所在地…直方市溝掘 1 丁目 TEL (09492) 471-6331 (代)
- 15 管理着手年月日 …………… 管理を着手した年月日を記入する。
- 16 操 作 …………… 直営、委託、委嘱、その他(臨時人夫)に区分したものに○で囲むものとする。
 委託、委嘱については、「水門等操作員の手当額の算定基準について」の施設区分である A、B、C のいずれかを () 内に記入する。
- 17 試 運 転 操 作 …………… 出水期前にポンプの試運転が出来るリサイクル(水の循環)方式等の施設となっているか、その有無を○で囲むものとする。
- 18 費用負担及び方式…………… 有無を○で囲むものとする。有の場合は、「排水機場の管理に要する費用の負担に関する覚書」による A 案、
 B 案を○で囲むものとする。
- 19 操 作 規 則 …………… 有無を○で囲むものとする。有の場合は、名称、施工年月日、操作の始動水位、停止水位を記入する。
- 20 操 作 方 式 …………… 遠隔手動操作、遠隔自動制御、機側操作等該当するものを記入する。
- 21 塗 装 面 積 …………… 塗装が必要な名称、面積を記入する。
- 22 電 気 設 備 …………… 負荷設備は、該当する設備を記入する。(例) 動力(モーター) 出力 80kw 等
 契約種別、電力が分かるように記入する。(例) 常時 高圧甲 150kw
 " 低圧 45kw
- 23 堤 内 諸 元 …………… 流入河川名又は、水路名を記入する。
 流入河川又は、水路の管理者を記入する。
 最低地盤高は、施設の流域内にある越流ヶ所、田畑、道路等の地盤高を記入する。
- 24 機 場 敷 高 …………… 敷地面積、芝生面積を記入する。
 舗装は、面積、厚さを記入する。
 植栽は、有無を○で囲むものとする。有りの場合は、その種類、本数を記入する。
 (例) 常緑高木 イヌマキ 10 本
 落葉高木 イチョウ 5 本
 常緑低木 イヌツゲ 150 本
- 25 河 道 緒 元…………… 施設位置での計画高水流量から計画河床勾配迄それぞれの数値を記入する。
 高さで表す場合は、T. P ± 〇. 〇〇〇m とする。

- 26 主ポンプ関係 …………… 形式は、立軸、横軸の別、軸流、斜流の別、一床式、二床式の別を記入する。
口径及び台数を記入する。
設置方法は、吸込直管型の一床式又は二床式、コンクリートケーシング式の別を記入する。(土木工事設計要領、第二編、河川編参照)
揚程は、全揚程、実揚程を記入する。
製作会社を記入する。
流量制御は、可否を○で囲むものとする。可の場合は、その調節方法を記入する。
(例) 斜流 バタフライ弁による開度調節、軸流 回転数制御
主原動機の名称は、内燃機関か電動機かの別を記入する。
容量は、出力(PW、PS)を記入する。
台数は、全体計画数、既設数を記入する。
冷却方式は、水冷、空冷の別を記入する。
製作会社を記入する。
冷却水の使用水は、水道水、河川水、地下水等の別を記入する。
水利用は、循環利用水等を記入する。
貯水量設備は、有無を○で囲むものとする。
容量を記入する。
- 27 燃料貯蔵 …………… 形式は、横置地下鋼製タンク等を記入する。
場所は、屋外、屋内等別に記入する。
- 28 除塵設備 …………… スクリーンは、有無を○で囲むものとする。有の場合は、位置、寸法、ピッチ傾斜角を記入する。
位置は、沈砂池と機場本体との境等を記入する。
除塵機の位置を記入する。
動力は、内燃機関、電動機等の別を記入する。
形式、出力、台数は、機械式自動除塵機 5kw×1台 等を記入する。
ベルトコンベヤーの幅、長さを記入する。
ホッパー容量を記入する。
- 29 流木除去 …………… 施設の有無を○で囲むものとする。有の場合は、概要を簡単に記入する。
- 30 天井クレーン …………… 有無を○で囲むものとする。
形式は、電動低速形等を記入する。
吊能力は、台数、リフト、スパン、製作会社を記入する。

- 31 構造 …………… 設計条件の震度は、垂直(KV) 水平(KH)を記入する。
コンクリートの設計強度(628)を記入する。
機场上屋の面積は、述面積を記入する。
構造は、一般的にRC構造と記入するが、これに該当しないものは、その構造内容を記入する。
寸法は、主要寸法を記入する。
喚気、防音設備は、有無を○で囲むものとする。
機場本体の構造は、鉄筋コンクリート造等を記入する。
原動機据付高及び敷高を記入する。
基礎は、直接基礎、杭基礎等を記入する。杭基礎の場合は、杭種類(RC、PC、PHC等) 杭径、長さ(2本継の場合は上流、下杭の長さも)本数を記入する。
角落し設備は、有無を○で囲むものとする。有の場合は、その位置及び扉の有無を○で囲み材質、寸法を記入する。
保管場所を記入する。
沈砂池の水深流速は、計画排水量時の流速、水深を記入する。
床版厚、幅×長、敷高を記上する。
基礎は、直接基礎、杭基礎等を記入する。杭基礎の場合は、杭種類(RC、PC、PHC等) 杭径、長さ(2本継の場合は上流、下杭の長さも)本数を計上する。
導水路は、断面(構造、寸法)を記入する。
吐出水槽は、断面(構造、寸法) 天端高、敷高を記入する。
基礎は、直接基礎、杭基礎等を記入する。杭基礎の場合は、杭種類(RC、PC、PHC等) 杭径、長さ(2本継の場合は上流、下杭の長さも)本数を計上する。
- 32 構造チェック …………… 河川管理施設等構造令及び河川管理施設等応急対策基準に照らし、不足箇所があれば記入する。
- 33 規模等決定根拠 …………… 集水面積、確率規模を記入する。
主要出水による被害状況は、出水年月日、浸水面積、浸水戸数を記入する。
ポンプ容量決定根拠を記入する。

橋梁（国、市町村道）台帳調書

台帳調書作成要領

- 1 橋梁名コード …………… 橋梁名コードは7桁の数字を記入する。
例) 01 4 079 01
事務所番号 道路種別 路線番号 下流からの通し番号
(事務所番号)
01 福岡土木事務所 02 久留米土木事務所 03 柳川土木事務所 04 直方土木事務所 05 行橋土木事務所
06 前原土木事務所 07 朝倉土木事務所 08 八女土木事務所 09 北九州土木事務所 10 田川土木事務所
11 飯塚土木事務所 12 那珂土木事務所 13 大牟田土木事務所 14 豊前土木事務所 15 宗像土木事務所
(道路種別)
01 国道 02 主要地方道 03 一般県道 04 市町村道
- 2 橋梁管理者（必須） …………… 橋梁を管理している名称を記入する。
- 3 橋梁名（必須） …………… 橋梁名およびフリガナを記入する。
- 4 橋梁区分（必須） …………… 橋梁区分は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
1 上下線一体 本線橋 2 上下線分離 上り本線橋 3 上下線分離 上り線側 側道橋 4 上下線分離 上り線側 ランプ橋
5 上下線分離 下り本線橋 6 上下線分離 下り線側 側道橋 7 上下線分離 下り線側 ランプ橋 8 その他
- 5 橋梁種別（必須） …………… 橋梁種別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 跨線橋 12 跨道橋 13 河川橋 14 その他
- 6 橋の等級（必須） …………… 橋の等級は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 1等級 12 2等級 13 3等級 14 その他
- 7 上部工分離・橋脚一体の別（必須） …………… 上部工分離・橋脚一体の別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 上部工一体・橋脚一体構造 12 上部工分離・橋脚一体構造 13 上部工分離・橋脚分離構造
- 8 歩車道区分（必須） …………… 歩車道区分は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
15 車道 16 車道＋自歩道 17 車道＋歩行者専用歩道 18 車道＋自転車専用歩道 19 自歩道専用歩道橋（側道橋の場合）
20 歩行者専用歩道橋（側道橋の場合） 21 自転車専用橋（側道橋の場合）
- 9 重要度区分（必須） …………… 重要度区分は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 グループ1 交差条件（跨道橋、跨線橋） 12 グループ2 緊急輸送道路、迂回路がない橋梁（1次、2次ネットワーク）
13 グループ3 交通量（10,000台以上） 14 グループ4 橋長（15m以上） 15 グループ5 上記以外
※上位の「グループ1」から選択する。
- 10 路線番号（任意） …………… 路線番号を記入する。
- 11 路線名称（必須） …………… 路線名称を記入する。

- 12 距離標 …………… A1 橋台の距離標を半角数字で小数点1桁まで記入する。
- 13 所在地（必須） …………… 橋梁位置の住所を記入する。
- 14 北緯 …………… A1 橋台位置の北緯を $^{\circ}$ $'$ $''$ で記入する。秒は小数点1位まで記入
度 分 秒
- 15 東経 …………… A1 橋台位置の東経を $^{\circ}$ $'$ $''$ で記入する。秒は小数点1位まで記入
度 分 秒
- 16 架設年次（必須） …………… 架設年次は橋梁の完成年とし西暦で記入する。
例) 2006年11月
- 17 供用開始年（必須） …………… 供用開始年は供用を開始した年とし西暦で記入する。
- 18 橋長（必須） …………… 橋長を記入する。
- 19 径間数（必須） …………… 径間数を記入する。
- 20 橋面積（必須） …………… 橋面積を記入する。
- 21 平面形状（必須） …………… 平面形状は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 直角（直角橋） 12 斜橋 13 曲線橋 14 直橋+斜橋 15 直橋+曲線橋
16 斜橋+曲線橋 17 その他
- 22 斜角（必須） …………… 河川法線に対する斜角を $^{\circ}$ で記入する。
- 23 バス路線 …………… バス路線は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 指定あり 12 指定なし
- 24 通学路 …………… 通学路は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 指定あり 12 指定なし
- 25 緊急輸送道路 …………… 緊急輸送道路は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 1次 12 2次 13 対象外
- 26 河川名（必須） …………… 架橋した河川名を記入する。
- 27 距離標（必須） …………… 河川図に基づく距離標を記入する。
例) 8/355
- 28 交差角（必須） …………… 河川法線に対する斜角を $^{\circ}$ で記入する。
- 29 計画河川（鉄道道路）幅（必須） …………… 計画河道断面におけるH, W, L幅を記入する。
- 30 計画流量（建築限界高）（必須） …………… 計画流量は単位 m^3/s で入力、但し半角で数字のみを入力する（単位は記入しない）
建築限界高は単位 m で入力、但し半角で数字のみを入力する（単位は記入しない）
なお、建築限界高は原則4.5m以上とする。
- 31 高欄・防護柵の種別 …………… 高欄・防護柵の種別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
11 歩行者自転車用柵 12 車両用防護柵 13 横断防止柵 14 歩行者自転車用柵兼用車両用防護柵

- 32 材料（高欄・防護柵） …… 材料は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 鋼 12 コンクリート 13 その他
- 33 形式（高欄・防護柵） …… 形式は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 ガードレール 12 ガードフェンス 13 ガードパイプ 14 コンクリート壁式
 15 橋梁用防護柵 16 その他
- 34 高さ（高欄・防護柵） …… 高さは路面から高欄・防護柵の天端までの高さを記入する。
- 35 添加物（必須） …… 添加物の種類、寸法、本数、重量、管理者を記入する。
 種別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 上水道 12 工業用水道 13 農業用水 14 下水道 15 電力 16 電話
 17 ガス 18 道路情報板 19 道路標識 20 通信ケーブル等 21 I T V 22 その他
- 36 D I D …… D I Dは、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 対象 12 対象外
- 37 舗装 …… 種別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 アスファルト 12 コンクリート 13 樹脂系 14 ブロック系 15 その他
- 38 床版 …… 材料は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 鋼系 12 コンクリート系 13 その他
- 39 照明 …… 種別は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 ボール照明 12 高欄照明 13 ハイマスト照明 14 その他
- 40 幅員（m）（必須） …… 道路の全幅員、有効幅員、中央帯の幅員、分離帯の幅員、左右側の車線数・車道幅・路肩幅・歩道幅・地覆高・地覆幅を記入する。
- 41 下部工（必須） …… 橋台・橋脚（必須）は、橋台名もしくは橋脚名を記入する。
 例) A1
 構造形式（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 重力式橋台 12 半動式橋台 13 逆T式橋台 14 控え壁式橋台 15 ラーメン橋台 16 箱式橋台 17 盛りこぼし橋台
 18 小橋台 19 その他（橋台） 20 壁式橋台 21 張出し式橋脚（円） 22 張出し式橋脚（小判） 23 張出し式橋脚（角）
 24 ラーメン橋脚（円） 25 ラーメン橋脚（小判） 26 ラーメン橋脚（角） 27 多層ラーメン橋脚（円） 28 多層ラーメン橋脚（小判）
 29 多層ラーメン橋脚（角） 30 パイルベント橋脚 31 アーチ拱抬 32 その他（橋脚）
 使用材料（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。
 11 鋼 12 コンクリート 13 その他
 平均高（必須）は、フーチング中央の下面から天端までの高さを記入する。
 躯体表面積は、橋台が正面のフーチングより上側から橋座までを対象とし、橋脚がフーチングより上側の地上に露出している面も対象にその面積を記入する。

基礎形式（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 直接基礎 12 オープンケーソン 13 ニューマチックケーソン 14 鋼管ウエル 15 場所打ちぐい（深礎を含む） 16 即製鋼ぐい
17 既製RCぐい 18 既製PCぐい 19 木ぐい 20 その他（PHCぐい）

土質名（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 砂質土 12 砂れき 13 粘性土 14 岩盤

形式（支承）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 線支承 12 ピン支承 13 ピボット支承 14 コンクリートヒンジ支承 15 一本ローラー支承 16 複数ローラー支承
17 ロッカー支承 18 支承板支承 19 ゴム支承 20 剛結構造 21 その他

支承条件は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 固定 12 可動 13 弾性 14 剛結（ラーメン） 15 その他

伸縮装置は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 ゴムジョイント 12 鋼製 13 埋設ジョイント 14 その他

適用基準（落橋防止システム）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 S41 指針 12 S47 指針 13 S55 指針 14 H2 示方書 15 H8 示方書 16 H14 示方書 17 その他

落橋防止構造の種類は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 なし 12 上下部工を連結 13 上部工を相互に連結 14 突起を設ける構造（鋼） 15 突起を設ける構造（コンクリート）
16 桁かかりを確保 17 その他

変位制限構造の種類は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 なし 12 上下部工を連結 13 上部工を相互に連結 14 突起を設ける構造（鋼） 15 突起を設ける構造（コンクリート）
16 支承移動制限装置 17 その他

42 上部工（必須） …………… 材料（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 鋼 12 RC 13 PC 14 SRC 15 石 16 木 17 その他

桁形式（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 単純桁 12 連続桁 13 ゲルバー桁 14 連結桁 15 その他

構造形式（必須）は、次のコード番号およびコード内容から選択し記入する。

- 11 鋼工桁 12 鋼H桁 13 鋼箱桁 14 鋼トラス 15 鋼アーチ 16 鋼ラーメン 17 鋼斜張橋
18 鋼吊橋 19 その他（鋼） 21 RC床版橋 22 RCT桁 23 RC箱桁 24 RCトラス 25 RCアーチ 26 RCラーメン
27 RCBOXカルバート 28 その他（RC） 31 PCプレテン床版橋 32 PCポステン床版橋 33 PCプレテンT桁
34 PCポステンT桁 35 PCプレテン箱桁 36 PCポステン箱桁 37 PCトラス 38 PCアーチ 38 PCラーメン
40 PCBOXカルバート 41 その他（PC） 51 その他（木、石、SRC含む）

43 施工（必須） …………… 上部工および下部工の施工業者名をそれぞれ記入する。業者が複数の場合（JV等）は下段に併記する。

44 設計（必須） …………… 設計会社名を記入する。会社が複数の場合は下段に併記する。